

# 代表質問

## 主な質問と答弁

2月定例会では、「一般質問」(議員個人による市政全般に対する質問)に代えて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、会派を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。今定例会の代表質問は、3月2日、3日、4日の3日間にわたって行われ、6名の質問者が、市長の政治姿勢などについて、市の考えをいただきました。

### コロナ禍の市民広聴・合意形成

#### ICTを活用した取組 意見交換の新たな機会に

(民主・無所属クラブ)  
見交換・合意形成は、行動制限を理由に中止すべきではないと考えるが、現状の「質問」市議会では令和2年度の議会報告会「カフェトークふじさわ」をオンラインで開催した。中学生、高校生及び民間企業等といった異なる立場の方々から意見をいただくことができ、今後の可能性を感じる催しとなった。

【答弁】 コロナ禍において、ICTを活用した取組を地域の実情に合わせ、幅広い世代の多様な方々に関心を持っていただくよう、積極的な情報発信を行う。また、市民の意見交換や合意形成の新たな機会として、その環境づくりを進めていく。



マイナンバーカードの普及を目的に、北部窓口を開設する

### 会派別 代表質問項目

※多数会派順

#### 民主・無所属クラブ

- 1 市長の政治姿勢について

#### 市民クラブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

#### ふじさわ湘風会

- 1 市長の政治姿勢について

#### 藤沢市公明党

- 1 ウイズコロナ・アフターコロナの市政運営について
- 2 安全で安心な暮らしを築く
- 3 市民・地域・行政で創るまちづくり
- 4 健康で豊かな長寿社会をつくる
- 5 教育と子どもたちが健やかに育つまちづくり
- 6 都市の機能と活力を高める

#### 日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 市長の政治姿勢について

#### アクティブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について



公共施設に木材の利用を進めていく = 藤 -teria

つ市内在住の女性に対し、地域の防災リーダーとしての参加を呼びかけながら、女性視点での避難所運営の実効性を高める取組を進めていく。

【答弁】 南海トラフ地震や近年の極端な気象現象に対応するため、新しいふじさわ防災ナビには感染症対策や女性視点の防災等の新たな要素を追加することで、幅広い層の市民が避難行動を分かりやすく理解できるように作成している。

【市民クラブ藤沢】 女性視点での避難所運営については、プライバシーに配慮するための資機材購入等の環境整備や、避難所運営委員会への女性の参画をさらに進める取組が重要と認識している。

#### 公共施設の木材利用 積極的な推進を

【市民クラブ藤沢】 気候非常事態宣言を表明した本市でも、森林保護やCO2削減のため、公共施設の積極的な木造化・木質化を率先して進めるべきと考えているが、市の見解を聞きたい。

【答弁】 本市では、従来から施設を計画する際に、その構造についてのメリットとコスト面の課題に対しては、森林環境譲与税の活用を検討するなど、今後の公共施設整備においても、木造化及び木質化を図るよう努めていく。

### 大型商業施設内に設置 マイナンバーカード窓口

#### 北部地域での利便性向上を図る

【ふじさわ湘風会】 デジタル市役所を推進するに当たり、その前提となるマイナンバーカード

【答弁】 コロナ禍において、ICTを活用した取組を地域の実情に合わせ、幅広い世代の多様な方々に関心を持っていただくよう、積極的な情報発信を行う。また、市民の意見交換や合意形成の新たな機会として、その環境づくりを進めていく。

を普及促進するため、大型商業施設の中に北部窓口が開設される。

【答弁】 令和3年5月から北部窓口をイトーヨーカドー湘南台店内に開設すること、北部地域での利便性向上や休日における窓口対応の拡充を図る。

【答弁】 今後の取組の方向性として、本庁と北部窓口を拠点に、それぞれの窓口の特徴を生かした普及促進を図り、さらに市民センターでの取扱いも検討する。

【答弁】 多くの市民がマイナンバーカードを取得されるよう、その推進に向けて環境を整備していく。あわせて、各種手続きのデジタル化による利便性の向上に取り組んでいく。

【答弁】 一部の学校で過大規模の状況が継続しているため、解消に向けた対応が必要であることは認識している。しかし、児童生徒数の推計は、今後減少傾向に転ずる見込みのため、学校の増設などの施設整備は難しい状況と考えている。

【答弁】 一部の学校で過大規模の状況が継続しているため、解消に向けた対応が必要であることは認識している。しかし、児童生徒数の推計は、今後減少傾向に転ずる見込みのため、学校の増設などの施設整備は難しい状況と考えている。

【答弁】 一部の学校で過大規模の状況が継続しているため、解消に向けた対応が必要であることは認識している。しかし、児童生徒数の推計は、今後減少傾向に転ずる見込みのため、学校の増設などの施設整備は難しい状況と考えている。



子どもたちにとって望ましい教育環境を確保する

【答弁】 一部の学校で過大規模の状況が継続しているため、解消に向けた対応が必要であることは認識している。しかし、児童生徒数の推計は、今後減少傾向に転ずる見込みのため、学校の増設などの施設整備は難しい状況と考えている。